

第六次須坂市総合計画策定 パブリックコメント実施結果報告について

1 実施期間

令和2年9月10日（木）～30日（水）

2 意見提出の結果

個人－5、団体－4 意見項目計19件

3 提出種別

郵送	1
ファクス	1
電子申請	1
電子メール	1
持参	5

4 意見の内訳

全体について	5
基本構想	1
わがまち「須坂」の魅力と特徴	1
2030年への展望、将来像、まちづくりの基本的な視点、基本目標	
土地利用に関する基本構想	
まち・ひと・しごと創生総合戦略（前期重点プロジェクト）	0
前期基本計画	13
多様性を認めあい、誰もが活躍できるまち	0
みんなで支えあい健やかに暮らせるまち	1
子どもの個性と力がのびのび育つ教育のまち	2
一人ひとりが学び、高め合うまち	2
安全・安心で快適な生活と美しい自然環境がともにあるまち	4
活力と賑わいのある自立したまち	2
市民とともにつくる持続可能なまち	2

5 意見に対する対応案

① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。	7
② ご意見等につきましては、計画原案に反映されていると考えています。	1
③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。	11

No	ページ	提出属性	意見対象項目	意見	意見に対する審議会の考え、ポイント	対応
1	-	個人	全般事項	計画全体について、見た目の派手さにとらわれることなく文章と数値で具体的に説明されていて、（県民気質に合った）真面目な印象で良いと思いました。	具体的な取組内容や目標を共創主体で共有しながら計画を推進していくことが必要と考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
2	-	団体	全般事項	（施策全般につき）先進国、先進自治体に学び、それに追い付き追い越すモデルとなる取組みを望みます。	総合計画の策定にあたり、市民の施策満足度や重要度についても意識調査を行っています。財政面とのバランスを考慮しつつ、他自治体との比較で不足する部分について取組みを強化する部分や、より一層強みを生かす部分など、施策ごとメリハリをつけた取組みを行うことが必要と考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
3	-	個人	全般事項	今後一層少子高齢化が進む厳しい社会の中で時世に合った形で行政のみならず大いに市民力を発揮していただき、市政を盛り上げていく時代かと思えます。第六次総合計画に向けて今後益々の須坂市発展を望みます。	ご指摘のとおり、市民力を生かし「共創」によりまちづくりを進めることが市の発展の原動力となります。本計画においても、市民の「豊かさ」や「しあわせ」のための共創や新しい時代へのチャレンジを計画の基本的な考えに掲げており、ご指摘の内容を最重要視点とした上で計画を進めることが大切と考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
4	-	団体	福祉関係施策全般	医院・診療所に来院する患者さんの中に、歩行中転倒し、その際、顔面をぶつけてしまい、前歯が折れてしまったとか、入れ歯が壊れてしまったという方がいらっしゃいます。大方の患者さんは、怪我が治り、通常の生活に戻れるそうですが、中には転倒時の状態が悪く、歩行困難になり車椅子での生活を余儀なくされたり、あるいは寝たきりになってしまう方もおられるようです。そうならないために、講師の方をお招きし、講演、講話を聴講したり、実技講習会などを開催するというのも予防の一助になるのではないかと思います。	高齢者の方等に対する介護予防をはじめとする様々な啓発は、関連施策全般に対して必要な視点だと思います。本計画の関連施策を進める上で、ご指摘いただいた内容は具体的な事務事業の中で取り組む必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。

No	ページ	提出属性	意見対象項目	意見	意見に対する審議会の考え、ポイント	対応
5	-	個人	人口減少対策	中山間地の人口減対策が必要である。	人口減少に関する対策については、大きな課題です。計画全体において、人口減少問題を克服するため、「須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を総合計画と一体的に策定し、人口減少を和らげるための各施策に取り組んでまいります。ご指摘の中山間地の人口減対策については、中山間地の魅力等についての情報提供に加え、空き家活用等の関連施策とも連動しながら対応をしていく必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
6	-	個人	人口減少対策	中山間地における耕作放棄地の対応、鳥獣害の対策が必要である。	本計画においても「土地利用に関する基本構想」や「施策28 農業の活性化」でも課題等について記載しています。市が進める様々な施策の連携を図りながら対応をしていく必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
7	-	個人	民間委託等	市の業務に関して、民間委託後の管理状況確認についてはどうか。	本計画へのご意見というより、民間委託のメリットやデメリットを踏まえ、委託後の事後的な効果検証を十分行う体制があるかという点での一般的なご質問と認識しております。この点については市が行う事務事業評価の中で必要性・有効性・効率性の各観点で内部評価を毎年実施しています。民間委託の事業に限らず、施策や事業を進めるにあたっては費用対効果を十分に踏まえた事業立案や、事後的な効果検証を行うことが必要だと考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
8	4	個人	将来人口 その他全般事項	4 ページ目「(2) 本格的な少子高齢社会のなか人口を維持しています」の記述について、人口を維持していることだけが取り上げられており、楽観的な表現になっている印象を受けました。少子高齢化の進行によって負担が重くなっていくことに、市民の多くは気づいていると思います。基本的視点で共創を掲げられているのでから、悲観的なリスクについても一定の説明を加えることによって、共に課題を解決していこうとする姿勢を示すほうが望ましいと思います。	計画全体において、人口減少問題を克服するため、「須坂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を総合計画と一体的に策定し、人口減少を和らげるための各施策に取り組んでまいります。重要課題を共創とチャレンジにより解決していくことは本計画の趣旨であり、ご指摘の内容について「わが国は…迎えています。」の後に以下内容を追記します。 「少子高齢化や人口減少の傾向は、産業・医療・福祉・介護への影響をはじめ、空き家の増加や地域の担い手不足など、地域社会への影響も予想されます。」	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。

No	ページ	提出属性	意見対象項目	意見	意見に対する審議会の考え、ポイント	対応
9	59	個人	学力の向上等について	施策10「特色ある教育の推進」 「現状と課題」における「基礎学力の向上に向けた児童生徒の個々の分析や検討に取り組み、対策を進めていますが、…課題となっています。」という内容を受け、学力向上についても最重要課題の一つとして具体的に例示したい。 また、コロナ禍による「授業進度」の遅れは、年度内に解消するとのことであるが、「学びの深度」が重要であると思う。さらに来年度以降、学校行事の精選などどう対応していくのか学校運営全体を見通していきたい。	学力向上のための取組みは「施策の取組方針」内で環境整備や人材育成、主体的・対話的な学びの定着…等々記載しており、最重要課題の一つとして認識しています。 「いじめ防止対策及び不登校対策」の部分の記述から「今後も最重要課題として捉え、」を削除します。 後段のご意見については、教育現場におけるICT環境整備をはじめ、多様なアプローチで施策の効果的な推進を図っていく必要があると考えます。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
10	60	団体	基礎学力の向上について	(施策10)「基礎学力の向上」における「各校の優れた取り組みや工夫を共有化するためのデータベースの検討」について、先生方が情報を共有することはとても大事だと思います。さらに先生方に加え、技術情報センターや関係機関等が情報を共有できるような(インターネット上の)「コミュニティ」もあると良い。その共有情報の中の取組み事例を関係機関が活かしたり、学校教育に活かしたりすることができれば良いと思います。また、児童生徒が地域との関わりを深めていくときの受け皿となる技術情報センター等関係機関が学校教育の現状や課題を理解しておくことも有効になると考えます。	ご指摘の点について、データベースを整理した場合にはそれを活用し基礎学力の向上に生かすことは重要な視点だと考えます。この点について、「主な取組内容」の欄に「関係機関等との学校教育における現状及び課題の共有」として追記します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
11	64	個人	生涯学習・学びあい	基本施策6「主体的に学び合うまちづくり」について、それぞれ学んだことを生かしてほしいことを望み、「主体的に学び合い生かされるまちづくり」という表現はいかがですか。(現代は、生涯学習が学ばだけでなく評価され、システム化されなければまちづくりにはつながらないと思います。)	上位の基本目標が「一人ひとりが学び、高め合うまち」としていることから、学びの内容を生かす(実践する)ことは重要な視点だと考えます。 ご指摘の内容を反映しつつ、書きぶりを整えさせていただき、「主体的な学びを促し学びを生かすまちづくり」として原案を修正します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
12	69	団体	スポーツ活動について	共創のまちづくりに向けた各主体の役割における「企業」の欄について、「文化・芸術活動を経済的に…」を「文化・芸術・スポーツ活動を経済的に…」と修正いただきたい。	ご指摘の内容のとおり追記します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。

No	ページ	提出属性	意見対象項目	意見	意見に対する審議会の考え、ポイント	対応
13	91	個人	自然環境の保全	(施策25関係) 河川はコンクリートでガードされ親水性に欠ける。	頂きましたご意見は一般的な事実に関する内容のため、具体的な回答が難しいのですが、治水対策など防災上の観点と自然環境保全や自然が持つ機能の維持についてバランスへの配慮をしながら関連施策を進めていく必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
14	91	個人	自然環境の保全	(施策25関係) 里山は耕作放棄された畑地が広がり入山に欠ける。	ご意見のとおり、耕作放棄地の問題は自然環境の保全という面に限らず、農業政策等の分野でも課題となっており、本計画においても「土地利用に関する基本構想」や「施策28 農業の活性化」でも課題等について記載しています。市が進める様々な施策の連携を図りながら対応をしていく必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。
15	92	個人	臥竜公園再整備について	「施策26 須坂らしい景観づくりの促進」の中で、臥竜公園は市最大のレジャー施設及び観光資源」と記載されているが、同時に五万市民による都市力の基点である人間形成・社会形成の場でもある。このことから以下について提案をさせていただきたい。臥竜公園再整備の重要性について、2031年に公園100周年を迎えるが、再整備は自然物が対象のため、具体的な整備構想を作成することによる早期着手が必然となる。公園の基本は人間形成・社会基盤がベースでありプラットフォームの存在です。事業費の財源は2020年度に税制改正された「企業版ふるさと納税制度」を活用することが望ましい。	臥竜公園の施設整備については「施策の取組方針」内で記載しています。市民の憩いの場であり、市民の人間形成・社会形成の場でもあるという趣旨のご意見は、記載内容の「須坂市の地域価値」を大きく育て、広く発信することに通じると考えます。整備については財政面とも関係することから、必要性や緊急性の観点を踏まえつつ、計画的な整備を行う必要があると考えます。	② ご意見等につきましては、計画原案に反映されていると考えます。
16	94	団体	循環型社会の推進と地球温暖化対策	(施策27関係) 異常気象は地球温暖化によるものと誰もが気付き始めた。CO2の削減のために、国・地方自治体・企業や個人が今何をすべきか具体的に示すこと。	CO2削減の課題や取組みについては「施策27 循環型社会の推進と地球温暖化対策」で記載しています。「主な取組内容」で市はこのことについて普及啓発を推進していくことはもちろんですが、ご指摘のように企業や個人が主体的かつ地道に行動することが最も重要であることから、「共創のまちづくりに向けた各主体の役割」欄に追記します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
17	101	個人	指標数値について	施策30の成果指標（製造品出荷額）及び施策33のプロセス指標（観光地利用者数）について、目標値がなぜ現状値よりも低く示されているのか疑問です。	新型コロナウイルスの影響を加味した直近の実績見込値等を踏まえ目標値を算出したことによるものです。新型コロナウイルスの影響が産業や観光に与える影響は相当大きいものがありますが、影響をより緩やかにできるよう、また、コロナ禍における新しい時代に合わせ、ピンチをチャンスに変化できるよう柔軟な視点で施策を進めていく必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。

No	ページ	提出属性	意見対象項目	意見	意見に対する審議会の考え、ポイント	対応
18	114	団体	新しい技術の検証、導入による業務効率化	「利便性の向上と業務の効率化」における「AIやRPAの活用など、新しい技術の検証、導入による業務効率化」について、Soceity5.0もそうですが、昨今叫ばれているDX（デジタルトランスフォーメーション）やデジタル庁の創設などのICT活用、また、コロナショックによる働き方の改革などは市役所業務にも言えることだと思います。AIやRPAといった新しい技術の活用も大切と思いますが、それ以前に庁内情報の共有化も必要なのではないかと感じています。首相の言う縦割り行政の是正にも通じるところがありますが、課内の情報共有、課を超えた情報共有を模索することが業務改善の最初の一步ではないでしょうか。 これについては折り込み済なのかもしれませんが、そのあたりを明記したらどうかと考えました。	多様化する社会課題への対応や地方創生実現のためには庁内情報の共有などいわゆる「横断的な対応」や「横連携」が必須となります。 施策36「ICT等による利便性の向上と業務効率化の促進」における主な取組内容の欄で、「明確な目標設定や柔軟な役割分担、密接な職場内コミュニケーション等による職員の主体的な業務推進」を掲げていますが、職員の主体的な業務推進を起点とし、それを横連携につなげ、分野横断型の課題に対する問題解決や課題達成を実現していくことが求められていると考えます。 ご指摘の「課を超えた情報共有」の視点については、行政内部にとって計画の愛称にもある「みらいチャレンジ」の重要視点でもあるため、書きぶりを整えさせていただき、「組織単位にとらわれることのない横断的な視点を持った行政運営と組織運営」と追記します。	① ご意見等に基づき、計画原案を加筆修正します。
19	121	個人	協働・市民参画について	施策39「施策の取組方針」について新首相の目指す社会像の「自助、共助、公助そして絆」を彷彿とさせる。地球規模の気候変動による気象災害そしてコロナ危機による社会変化のなかで、市民に「自助」努力をどこまで求め、行政が共助や公助をどう再構築するか共に考えていきたい。	自助、共助、公助における「自助」についてはご指摘のとおり行政が関与しない部分としてマイナス面で捉えられがちですが、災害への備えやいざという時の行動など、「自助」を日頃から実践することが市民の皆さんにとっても有益となる面もあります。ご指摘のとおり「自助」によることが難しい部分は「共助」や「公助」で補い支えていくこともまた必要です。限られた資源の中、これらのバランスを考え各施策を進める必要があると考えます。	③ 計画原案に関するご意見等にお答えします。